

令和2年度

社会福祉法人野木町社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人野木町社会福祉協議会

令和2年度事業報告目次

1	総括概要	2
2	サービス区分報告	
	＜社会福祉事業＞	
	法人運営事業及び決算額	3
	地域福祉活動事業及び決算額	5
	法人後見事業及び決算額	11
	共同募金配分金事業及び決算額	12
	社会福祉基金事業及び決算額	14
	資金貸付事業及び決算額	15
	生活福祉資金貸付事業及び決算額	15
	地域福祉ネットワーク事業及び決算額	16
	外出支援サービス事業及び決算額	17
	配食サービス事業及び決算額	17
	居宅介護支援事業及び決算額	18
	指定管理事業及び決算額	18
	＜公益事業＞	
	地域包括支援センター事業及び決算額	19
	デマンド交通運営事業及び決算額	21
	＜その他＞	
	日本赤十字社活動と共同募金活動	21
	その他の支援活動	22

令和2年度 事業報告

【総括概要】

地域福祉の推進の理念として、支援を必要とする住民（世帯）が抱える多様で複合的な地域生活課題について、住民や福祉関係者による解決が図られることを目指す『地域共生社会』の実現に向け、町総合サポートセンターと連携し、既存の相談支援等の取り組みを活かしつつ、住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築し、複合的な課題解決に向け取り組みました。今後も課題を抱える相談者やその世帯への包括的な支援や、地域住民等による地域福祉の推進を目指してまいります。

平成28年度に町と相互に地域福祉の推進を図るため一体的に策定した『野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』については、町、町社会福祉協議会及び町民の協働により計画を推進するため、推進委員会を開催し、次期計画に向けたスケジュール及び町民意識調査票について検討しました。また、これからの野木町の地域福祉の推進・充実のために、町民の皆さんからご意見・ご要望等を広くお聞きするため、アンケートを実施しました。実施したアンケート調査結果をもとに浮かび上がった課題や問題点の確認や現計画の振りかえり等を行いながら、次期計画策定に向け取り組みます。

権利擁護事業については、認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方など、判断能力に不安があり、福祉サービスの利用や、生活費の管理に困っている方に安心して地域で生活できるように日常生活自立支援事業（あすてらす）を実施しました。また、12月より法人として成年後見人となり、その方の判断能力を補い、安心して日常生活を送ることができるように支援する法人後見事業を開始しました。日常生活自立事業の利用者も近年増加傾向があり、生活支援員の人材確保や成年後見制度への移行促進など課題が顕在化しているため、今後とも総合的な権利擁護体制づくりを推進してまいります。

令和2年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域福祉活動事業等の各種事業の実施が中止、縮小、変更を余儀なくされました。今回の新型コロナウイルスのようなパンデミックが発生した場合や大地震などの災害が発生すると、通常通りに業務を実施することが困難であることが想定されるため、本会においても災害用や感染症用の業務継続計画（BCP）の検討・策定を行いました。また、令和3年度介護報酬改定で介護施設や介護事業所は防災対策をはじめ様々な場面を想定してのBCP対策を講じることが義務づける方針になることから、介護サービスが継続できるようしっかりと定めてまいります。

今後も、誰もが安心して住みなれた地域で暮らしていける地域共生社会を目指し、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスの充実をすすめるとともに行政や各関係機関、団体等と連携・協働し各種活動を行なってまいります。

■法人運営事業及び決算額

【41,109千円[38,386千円]】

1 事業の概要

社会福祉法人野木町社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織として、各係（担当部署）の連絡・調整を図り、適正な法人運営を推進した。

また、社会福祉法改正により、経営組織のガバナンスの強化、事業透明性の向上、財務規律の強化と財政の健全化に努めた。

2 主要な施策

(1) 理事会・評議員会・監査会

理事会・評議員会・監査会の開催により、法人の適正な運営と効果的な事業の実施をすすめた。また、理事会・評議員会を通じて関係機関との連絡調整を図り、社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体として継続的かつ安定的に地域福祉を展開していくための法人組織基盤の強化を図った。

①理事会の開催（業務執行の決定）

第1回理事会（令和2年6月1日開催）		出席者：理事8名、監事2名
議案	第1号	令和元年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	令和元年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会役員（理事）の一部選任について
	第4号	令和2年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会定時評議員会の開催について
	第5号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
	第6号	令和2年度第1回社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
	第7号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員の候補者推薦について

第2回理事会（令和2年9月4日開催）		出席者：理事9名、監事1名
報告	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長の職務執行状況の報告について
	第2号	ふくしのつどいのぎ2020開催中止の報告について
議案	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長表彰並びに感謝状贈呈者の選考について

第3回理事会（令和3年3月22日開催）		出席者：理事9名、監事2名
報告	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長の職務執行状況の報告について
議案	第1号	令和2年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会定款の一部変更について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会規程の一部改正について

	第4号	令和3年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会事業計画について
	第5号	令和3年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第6号	令和2年度第2回社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員会の開催について

②評議員会の開催（予算及び事業計画の承認、計算書類及び事業報告の承認他）

定時評議員会（令和2年6月17日開催）		出席者：評議員17名、監事1名
議案	第1号	令和元年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	令和元年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会役員（理事）の一部選任について

第2回評議員会（令和3年3月30日開催）		出席者：評議員19名
報告	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
議案	第1号	令和2年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会定款の一部変更について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会規程の一部改正について
	第4号	令和3年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会事業計画について
	第5号	令和3年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会会計収支予算について

③監査会の開催（事業報告、業務及び財産の状況に係る監査）

監査会（令和2年5月20日開催）		出席者：監事2名
内容	令和元年度事業報告等、計算関係書類及び財産目録の監査	

④評議員選任・解任委員会の開催（評議員の選任）

第1回評議員選任・解任委員会（令和2年6月17日開催）		出席者：委員4名
議事	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員の選任について	

(2) 会員増強の強化（7月）

社会福祉協議会活動の趣旨などを周知するとともに会員加入促進を図った。

町社会福祉協議会会員募集実績（募集月間7月）

会員内訳	会員数（世帯・事業所）			金額（円）		
	H30実績	R1実績	R2実績	H30実績	R1実績	R2実績
特別会員	27	31	34	31,000	34,000	38,000
普通会员	6,070	6,106	5,870	3,035,100	3,053,800	2,935,300
寄付	484	452	568	144,905	131,890	135,345
賛助会員	33	37	37	170,000	195,000	190,000
合計	6,614	6,626	6,509	3,381,005	3,414,690	3,298,645

(3) 福祉サービスの運営適正

野木町社会福祉協議会における苦情解決に関する規程に基づき、利用者からの苦情に適切に対応し、利用者が安心してサービスを利用できるよう、運営事業ごとに苦情解決担当者を配置するとともに、第三者委員を委嘱し、その権利を擁護した。

第三者委員構成	人権擁護委員 1・民生委員児童委員 1・社会福祉士 1
苦情受付数	0 件

(4) 事務局活動

法人事務局として必要な人事・財務管理等を行った。

(5) 事業運営の透明性の向上

社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムの公表を行った。

(6) 財政基盤の強化

地域福祉推進の事業費となる社協会費、共同募金、寄付金の拡大、また、介護サービス事業等については、経営理念のもと効果的、効率的かつ適切で安定した事業運営に努めた。

■地域福祉活動事業及び決算額

【1,646 千円[1,544 千円]】

1 事業の概要

地域住民の福祉の向上や障がいへの理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行った。また、判断能力が不十分な高齢者や障がい者の方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等の支援を行った。

2 主要な施策

(1) 地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

平成 28 年度策定した『野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』において、行政、社会福祉協議会及び町民との協働により計画を推進するため、野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況の把握と次期計画のため意見交換を行った。

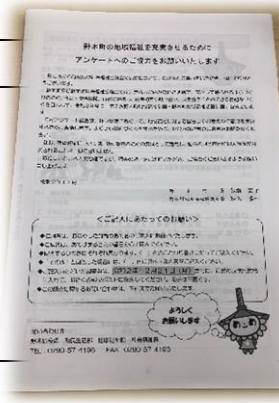
第 1 回推進委員会（令和 2 年 11 月 18 日開催）		出席者数(名)
内容	・第 2 次野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画について ・町民意識調査票（案）の検討について	8

第2回推進委員会（書面開催）	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・野木町地域福祉計画・地域福祉計画活動計画の進捗状況（町）について ・野木町地域福祉計画・地域福祉計画活動計画の進捗状況（社協）について ・野木町の地域福祉を推進するための町民意識調査結果について

(2) 第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業

野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画を町と協働で改定するにあたり、町民のニーズを把握するためアンケート調査を実施した。

調査期間	令和2年12月1日～令和3年1月12日
調査対象	町在住20歳以上の町民（無作為抽出）
調査対象数	2,000人
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ①福祉に対する考えについて ②近所付き合いについて ③地域での生活満足度について ④地域福祉で必要と感じる事業について ⑤地域防災について ⑥地域活動・ボランティア活動について
回収結果	837人（41.9%）



(3) 災害ボランティアセンター設置・運営に係る整備の実施

災害時におけるボランティア活動対応を迅速・効果的に行うため、町・関係機関との連携を図り、被災者支援活動ができるよう資機材の整備など防災力の向上に努めた。また、新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応など平時から準備しておくべきことについて検討や法人として地震や感染症を想定した事業継続計画（BCP）を各係から集約し、課題や掲載すべき項目の共有化を行い、BCPの作成を行った。次年度以降は、必要に応じて修正や検討を行っていく。

災害ボランティアセンター運営研修（令和3年1月28日開催（オンライン参加））	
内容	講義「災害時のIT活用事例と検証中の災害VC運営システム」 講師 株式会社サイボウズ 災害支援チーム リーダー 柴田 哲史氏 講義「コロナ禍をふまえた新たな協働・連携」 講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄氏

コロナ禍における災害ボランティアセンター運営研修会 （令和3年3月23日開催（オンライン参加））	
内容	基調講演「コロナ禍での災害VCの運営について」 社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動支援センター 実践報告① 令和2年7月豪雨災害における災害VCの取り組み 福岡県・久留米市社会福祉協議会 熊本県・人吉市社会福祉協議会 熊本県・芦北町社会福祉協議会 実践報告② コロナ禍での災害ボランティア募集と災害VCの運営体制 熊本県・熊本県社会福祉協議会

グループ討議	コロナ禍における災害 VC 運営と課題 災害 VC に関わる状況等について 社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動支援センター
--------	---

(4) 社会福祉等のボランティア活動支援

①ボランティア関係機関との連携と活動基盤整備

町が設置するボランティア支援センター「きらり館」と連携を図りながら、社会福祉関係等のボランティア活動がより円滑にかつ効果的に進行されるよう支援した。また、ボランティア活動を安心して行うことができるよう、個人や団体等の活動内容に沿った保険加入を促進し、加入の事務手続きを行った。今後も、安心してボランティア活動に参加・活動ができる環境整備と情報提供の推進に努める。

ボランティア保険種別	加入件数 (件)			加入者数 (名)		
	H30 実績	R1 実績	R2 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績
ボランティア活動保険	20	18	11	925	960	727
ボランティア行事用保険	21	19	5	1,193	1,019	147
福祉サービス総合補償	5	4	4	81	84	76
送迎サービス補償	2	1	1	9	8	8
合計	48	42	21	2,208	2,071	958

※ボランティア活動中の事故報告

事故報告件数 (件)	H30 実績	R1 実績	R2 実績
	2	0	3

(整備機材一覧)

資機材名	資機材名	資機材名
ロッカー	録音機	疑似体験まなび体 (片マヒ用)
パソコン	録音 (集積) マイク	アイマスク体験具
点字板	スピーチオ (活字文書読上装置)	車いす
点字プリンター	デイジー (CD 読み取り機)	段差解消スロープ
MD/CD ラジカセ	高齢者疑似体験装着具	プロジェクター・スクリーン

②社会福祉等ボランティア活動の推進と担い手の育成

社会福祉関係等のボランティア団体 (サークル)・個人により構成された連絡協議会の事務局を担当し、各種活動の支援と助成を行った。

開催日	内容
4月25日	全体会・全体研修会 (中止)
4月27日	マスク作り活動 (~5月12日まで 完成品は町へ寄贈)
9月16日	シトラスリボンプロジェクト協力
11月2日	委員視察研修会 (中止)
定例会の開催 (第2木曜日/年6回開催 (書面開催含))	
各ボランティア団体の代表者及び個人ボランティアから構成 (委員 15名) され全体会・全体研修会、委員視察研修会等について意見交換を行った。	



社会福祉ボランティア連絡協議会の会員数（毎年・毎年度 3 月 31 日現在）

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
団体数（団体）	14	11	10
個人ボランティア数（名）	69	69	54

（ボランティア団体）

No.	名 称	活動内容
1	手話サークル「虹の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験、講演等含）への参加協力
2	手話サークル「野和の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校体験含）への参加協力
3	朗読の会「のぎく」	町広報・社協情報誌、お知らせ版他を録音し、視覚障がい者に届ける活動、朗読の学習、福祉関係事業（小中学校体験支援含）への参加協力、施設での読み聞かせ活動
4	点友会「のぎ」	視覚障がい者との交流、点訳による情報提供活動、点訳学習、各種福祉関係事業（小中学校点字体験含）への協力
5	シルバー大OB会 野木支部	各種福祉関係事業への参加協力・研修
6	五家英子とみんなで楽しく踊ろう会	福祉施設でのよさこい交流活動、町、各種福祉関係事業への参加協力
7	野木ひまわり	
8	のぎコスモス YOSAKOI 桜	
9	傾聴野木	高齢者施設や在宅ひとり暮らし高齢者の方への傾聴活動
10	のぎまちづくり ネットワーク	町民の皆様と一緒に協力し、協働のまちづくりを進める活動

（ボランティア団体以外の活動一覧）

No.	名 称	活動内容
1	配食ボランティア活動	社協事業「配食サービス」を支援し、ひとり暮らしの高齢者宅等に昼食のお弁当を届け、交流を図る活動
2	収集ボランティア活動	使用済資源（古切手、プリペイドカード、書き損じハガキなど）を収集整理して関係機関に送付し、発展途上国の福祉に役立つよう活動

3	施設でのボランティア活動	町内高齢者・障がい者福祉施設・介護施設などで趣味活動支援や話し相手などの活動をしながら交流を図る活動
4	事業協力活動 HD体験学習支援活動	福祉事業への協力や町内小中学校やサマースクールでのハンディキャップ体験指導などで活動

③児童生徒の福祉教育活動推進

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、協働による福祉体験学習を推進した。

・協力校事業

協力（指定）校	野木中学校、野木第二中学校、友沼小学校、野木小学校、佐川野小学校、南赤塚小学校、新橋小学校（全7校）
実施した主な活動内容	空き缶回収／一円募金／エコキャップ回収／車いす体験／学校行事の高齢者招待／文化祭等の福祉活動／高齢者・障がい者福祉施設体験／クリーン活動／ふれあい活動／点字・手話の学習／伝承あそび／その他

・協力校事業連絡会議の開催（年3回）

開催日	内容	出席者数（名）
6月22日	・令和2年度事業計画について ・各学校における福祉教育の計画について	11
11月17日	・地域福祉新聞について ・コロナ渦における福祉教育についての意見交換	10
1月29日	・地域福祉新聞（校正）について	（書面開催）

・地域福祉新聞（小中学生版）の発刊（共同募金配分金事業）

各学校におけるボランティア活動や福祉教育の取り組み等について、地域福祉新聞を発行し、町内全世帯に配布した。

発行日	内容
2月24日	・各協力校で行われている福祉教育事業やボランティア活動 ・福祉教育に携わるボランティアサークルの方の感想 ・赤い羽根共同募金×福祉教育



・学校における福祉教育への支援活動

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

開催日	内容	場所
10月5日	ハンディキャップ体験学習支援（福祉委員）	野木中学校
10月22日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	南赤塚小学校
11月9日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	新橋小学校
11月10日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	新橋小学校
11月10日	人権講話「シトラスリボンについて」	新橋小学校

12月1日	人権講話「シトラスリボンについて」	友沼小学校
12月7日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	友沼小学校
12月8日	手話・点字体験学習支援（4年）	新橋小学校
12月9日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	野木小学校

(5) 在宅福祉活動

①福祉機材の貸出

歩行等が困難で車いすを必要とする方の日常生活の便宜を期するため、車いすを貸出した。

貸出件数（件）	H30 実績	R1 実績	R2 実績
		39	48

②ふれあいサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業

高齢や障がい等により日常生活を営むことに支障のある方に対し、公的サービスでは補えないニーズについて住民相互の支え合いによる会員制の生活支援サービス事業を実施した。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
利用会員数（名）	38	43	45
協力会員数（名）	22	24	24
活動件数（件）	101	65	35

協力会員会議（令和3年3月12日開催）		出席者数(名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現状報告 ・活動事例 ・今後のふれあいサービスについて 	9

(6) 日常生活自立支援事業（愛称 あすてらす）

認知症高齢者、知的障がい者や精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス・預金・日常の金銭管理を行い、地域で安心して自立した生活が送れるよう支援した。

【実施したサービス内容】

福祉サービスの利用援助：福祉サービスの利用申込みや契約の代理・代行

日常的な金銭管理サービス：年金等受領、公共料金の支払い、預貯金の出し入れ代理・代行
書類預かりサービス：預金通帳・印鑑・各種証書の預かり

【生活支援員数】 登録者10名（実サービス提供担当者6名）

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
利用者実人数（名）	13	14	14
提供回数（回）	165	303	200

(7) 緊急食料等給付事業の実施

経済的に困窮し最低限の生活を維持することが困難な世帯に対して、総合サポートセンター「ひまわり館」と連携を図りながら、フードドライブを活用し食料等の支援を行い、生活困窮者の自立促進を進めた。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
件数 (件)	4	5	14

(8) 福祉団体活動支援・協力

団体名	主な事務・事業支援内容
野木町老人クラブ連合会	世代間交流活動等を通して健康づくりや生きがいづくりの場の推進を支援した。
野木町社会福祉ボランティア連絡協議会 (団体・個人含)	活動者相互の交流や情報交換の場の提供などボランティア活動推進の支援に努めた。
野木町赤十字奉仕団	新型コロナウイルス感染症の流行により、各種活動が休止となったが、次年度に向けて活動の意見交換を行った。

(9) その他

行路援護者に対し、交通費の援助を行った。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
件数 (件)	4	6	7

■法人後見事業及び決算額

【365 千円[0 千円]】

1 事業の概要

成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などのために、判断能力が十分でない方の権利や財産を守るための制度であり、判断能力が不十分な方に対し、社会福祉協議会が法人として権利や財産を適切に管理する支援者になることで、その方を法的に支援した。

2 主要な施策

(1) 法人後見運営委員会

成年後見制度における成年後見人、保佐人及び補助人を受任する法人後見事業の要綱等の整備や受任の適否の判断や事業の指導を行い、中立性、公正性及び的確性を確保するために法人後見運営委員会を設置し業務を開始した。

法人後見事業ケース検討会議 (令和2年8月5日開催)		出席者数(名)
内容	・検討が必要なケースに関する情報交換と今後の対応について	6

第1回法人後見運営委員会 (令和2年9月8日開催)		出席者数(名)
内容	・法人後見人等の受任の申立に関する審査について	7

第2回法人後見運営委員会（書面開催）	
内容	・経過報告書について

法人後見受任状況

類 型	R2 実績
後 見	1
保 佐	0
補 助	0
合 計	1

■共同募金配分金事業及び決算額

【1,888 千円[1,634 千円]】

1 事業の概要

赤い羽根共同募金からの配分金を活用し、社会福祉活動の理解と関心を高めるため、広報啓発活動（情報誌やホームページの活用）を推進し、活動の紹介や情報を提供した。

2 主要な施策

(1) 広報・啓発活動

多年にわたり社会福祉事業の発展及び社会福祉協議会の運営に貢献、功績のあった方々に対する福祉功労表彰をした。また、社協情報誌『ぽけっと』・地域福祉新聞（小中学生版）の発行やホームページの維持管理など広報活動を行い、事業のPRとネットワークの構築を図った。

福祉功労表彰者
（表彰者） ・社会福祉団体及び社会福祉施設等の役職員 1名 ・社会福祉事業協力者 2名 （感謝状） 8団体

・社協情報誌『ぽけっと』…年4回（4月・6月・10月・1月）発行

号数	発行日	内 容
125号	4月23日	令和2年度事業計画・予算、各行事の中止又は延期のお知らせ、おれんじカフェのお知らせ、デマンドタクシー「キラ輪号」からのお知らせ、地域福祉計画・地域福祉活動計画、赤十字月間のお知らせ、ボランティア養成講座のお知らせ、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
126号	6月25日	令和元年度事業・決算報告、令和2年度生きがい講座受講生募集、

		マンデーボランティア講座受講生募集、おれんじカフェのお知らせ、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
127号	10月29日	令和2年度社協会員・日赤会員実績報告、老人クラブ表彰受賞者の紹介、法人後見制度について、配食ボランティア・外出支援サービス運転登録募集について、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
128号	1月28日	令和2年度赤い羽根共同募金実績報告、野木町社会福祉協議会会長表彰・感謝状受賞者紹介、ふくしのつどいのぎ2020の中止について、えんじゅクラブ通信、シトラスリボンプロジェクト報告、ひとり暮らし高齢者友愛訪問実施について、貸付制度のご案内、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他

・地域福祉新聞…年1回(2月)発刊

発行日	学校名等	記事内容
2月21日	友沼小学校	・人権学習会 ・野木町更生保護女性会の方々とチューリップ植え ・ハンディキャップ体験
	野木小学校	・アイマスク体験 ・車いす体験
	佐川野小学校	・食農教育について
	南赤塚小学校	・人権週間 ・シトラスリボン運動 ・車いす体験 ・アイマスク体験
	新橋小学校	・人権講話「シトラスリボンについて」 ・ふれあいウォークラリー ・総合「心のバリアフリー」
	野木中学校	・ペットボトルキャップ回収 ・高齢者への手紙 ・ハンディキャップ体験 ・古紙・アルミ缶回収
	野木第二中学校	・プルタブ回収 ・NHK海外たすけあい募金 ・シトラスリボンプロジェクト
		・手話サークル「野和の会」、点友会「のぎ」、朗読の会「のぎく」 ・赤い羽根共同募金×福祉教育

・ホームページ…年間公開

アクセス件数(件)	H30実績	R1実績	R2実績
	2,303	3,491	3,284

(2) 高齢者の社会参加(代替事業:高齢者友愛訪問事業)

ひとり暮らし高齢者交流会名簿に登録のある高齢者宅へマスクを配布したり、職員が在宅生活支援のための冊子と便乗詐欺防止のチラシを持って訪問した。その際対象

者の身体・精神的状況及び生活の様子等を聞き取り、本人の希望や緊急の度合いに応じて地域包括支援センター等の専門機関を繋ぐことも検討した。

実施日	令和2年11月11日～11月12日
対象者	70名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・最近心配なことや困っていることはないのか ・福祉ニーズ（専門機関につなぐ必要性）の有無について



(3) 世代間交流事業

児童と地域の高齢者が季節行事やレクリエーションを通しての交流を行った。

開催日	内容	参加者	場所
10月21日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業 (芋ほり)	法得幼稚園児 老人クラブ会員 27名	川田地域



(4) 児童・生徒の福祉教育活動支援助成

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校に支援・助成を行った。

■社会福祉基金事業及び決算額

【408千円[374千円]】

1 事業の概要

町民、事業所等からの寄付金を社会福祉の振興に充てるため「社会福祉基金」を設置し、積み立てた。

・善意の寄付受入について(基金指定)

預託内容	H30 実績	R1 実績	R2 実績
寄付件数 (件)	16	11	10
寄付金額 (円)	735, 828	368, 246	402, 140

■資金貸付事業及び決算額

【147 千円 [111 千円]】

1 事業の概要

低所得者及び生活困窮者に対し、必要な小口の資金の貸付を行い、家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう支援した。また、貸付相談から見出された世帯の様々な生活課題等に対応すべく、各関係機関と連携し、支援を行った。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
貸付件数 (件)	47	9	13
償還件数 (件)	48	23	16

資金の種類・貸付件数 (件)	H30 実績	R1 実績	R2 実績
生活一時資金	47	9	11
医療・介護一時資金	0	0	0
家屋修理一時資金	0	0	0
就学一時資金	0	0	0
その他の一時資金	0	0	2
合計	47	9	13

■生活福祉資金貸付事業及び決算額

【1, 541 千円[81 千円]】

1 事業の概要

栃木県社会福祉協議会より受託し、民生委員児童委員との連携のもと、低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に資金の貸付事務や相談支援を行い、その世帯の経済的自立や生活意欲の助長促進を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生計維持が困難となり、生活再建までの生活費を必要とする世帯への資金の貸付事務や相談支援を行った。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
相談件数 (件)	17	20	248

資金の種類・貸付件数（件）	H30 実績	R1 実績	R2 実績
総合支援資金	0	0	0
福祉資金（福祉費）	0	0	0
福祉資金（緊急小口資金）	0	0	0
教育支援資金	0	1	2
臨時特例つなぎ資金	0	0	0
緊急小口資金コロナ特例貸付		1	95
総合支援資金コロナ特例貸付		0	52
総合支援資金コロナ特例貸付（延長）			11
総合支援資金コロナ特例貸付（再貸付）			18
合 計	0	2	178

■地域福祉ネットワーク事業及び決算額

【8,897千円 [6,777千円]】

1 事業の概要

地域におけるボランティア活動などの住民の福祉活動への支援や地域住民が相互に協力し、要援護者に対して支援を行うためのネットワークづくりなど多種多様な福祉ニーズに対しての支援を行った。

2 主要な施策

(1) ふれあい福祉総合相談

住民の日常生活の各種相談に応じるとともに、相談を通じて見出された課題に対して、ニーズに即したサービスの提供や関係機関との連携による対応を行い、適切な助言、援助等を行って地域住民の福祉の増進を図った。

相談種別	開設曜日・時間	相談員	相談内容
心配ごと相談	毎月第1水曜日 10:00-12:00	民生委員児童委員 保護司・人権擁護委員	日頃の悩みごとなど 日常生活に関する相談
法律（弁護士）相談	毎月第3木曜日 10:00-12:00	弁護士	財産・扶養・土地・金銭 貸借・賠償・離婚等の 問題に関する相談
介護相談	月～金曜日 8:30-5:15	介護関係職員	介護や介護保険（サー ビス）等に関する相談
ボランティア相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	ボランティア保険や社 会福祉支援活動等に関 する相談

生活資金・地域福祉 権利擁護相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	生活資金や日常金銭管 理に関する相談
---------------------	--------------------	------	-----------------------

【心配ごと相談】	H30 実績	R1 実績	R2 実績
開所回数 (回)	23	12	7
来談件数 (件)	8	5	1

【法律相談】	H30 実績	R1 実績	R2 実績
開所回数 (回)	12	12	11
来談件数 (件)	48	45	42

【介護・高齢者相談】	H30 実績	R1 実績	R2 実績
総合相談件数 (件)	241	269	266

■外出支援サービス事業及び決算額

【206 千円 [326 千円]】

1 事業の概要

町内に居住し65歳以上で肢体不自由により車いすを常時使用している高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に、リフト付車両により居宅と社会福祉施設又は医療機関等の間の送迎を行った。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
利用者実人数 (名)	17	14	7
移送回数 (回)	64	94	51

■配食サービス事業及び決算額

【1,437 千円 [1,352 千円]】

1 事業の概要

町内に居住する65歳以上のひとり暮らしの者又は高齢者のみの世帯であって、老衰、心身の障がい又は疾病等の理由により調理が困難な方に対し、お弁当の宅配(毎月4回 金曜日)を行うことで、安否の確認と日常生活の身体的・精神的負担の軽減と健康維持を図った。

【配食方法】 配食ボランティアの協力により弁当を宅配、安否確認を行う。

【配食回数】 毎金曜日 月4回(昼食弁当)

【配食協力者(ボランティア)人数】 43名

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
利用者実人数（名）	57	64	57
配食数（食）	1,812	1,815	1,988

■居宅介護支援事業及び決算額

【26,735 千円 [19,319 千円]】

1 事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護認定を受けた人のケアプランを作成した。また、町及び地域包括支援センターとの連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指すとともに関係各所から総合的に提供されるよう連絡調整を図りながら、要介護者の自立した在宅生活を支援した。

【介護支援専門員数】 4名

居宅サービス計画 (ケアプラン) 作成	H30 実績	R1 実績	R2 実績
作成件数（件）	1,075	1,137	1,103
要介護認定調査	H30 実績	R1 実績	R2 実績
調査件数（件）	1	2	1

■指定管理事業及び決算額

【19,019 千円 [20,165 千円]】

1 事業の概要

指定管理者として、施設の目的や特性・業務内容・運営等を踏まえ、高齢者の福祉を増進する事業の展開とより効果的・効率的かつ施設の機能を最大限に発揮できる施設の管理運営に努めた。

2 主要な施策

(1) 野木町老人福祉センターの管理運営

コミュニケーションを多くとることができ、楽しみを増やせる生きがいつくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図った。また、施設整備や防災等安全確保に十分配慮し、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
開所日数（日）	341	302	261
利用者総数（名）	27,142	24,290	7,591

(2) 講座等の開催

町内に在住する60歳以上の方を対象に健康保持・増進と文化教養の向上を図るため各種事業を行った。

- ・生きがい講座（令和2年9月～令和3年2月）

講座名	開講回数（回）	受講者実人数（名）		
		男	女	計
生活サポート運動教室	10	1	9	10
初心者向け養生気功講座	9	3	7	10
初心者向けパソコン講座	17	2	3	5
合計	36	6	19	25

(3) 老人福祉センター利用者数等別表による。（P 23 参照）

■地域包括支援センター事業及び決算額

【53,243 千円[49,080 千円]】

1 事業の概要

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるよう総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の実施や各関係機関との連携強化とネットワークにより、地域で見守る体制作りに努めた。

2 主要な施策

(1) 地域包括支援センターの運営

【専門職員数】8名（本センター5名・サブセンター3名）

社会福祉士	2名
保健師・看護師	2名
主任介護支援専門員（介護支援専門員含）	4名

①総合相談支援

地域に住む高齢者の様々な相談に対応し、適切な機関・制度・サービスに繋ぐなど継続的に支援する総合的な相談を行った。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
総合相談	241	269	266
認知症相談	35	40	20
権利擁護相談	20	14	12
虐待相談	8	13	6

介護認定申請等	47	131	106
福祉用具住宅改修理由書作成	41	37	41
関係機関への連絡・調整等	3,131	3,498	3,471
緊急通報装置	28	29	19
見守りキーホルダー	8	10	12
その他	53	48	198
件数 (件)	3,612	4,089	4,151

※その他については、困難ケース、緊急通報装置の確認、見守りキーホルダーの更新確認等

②権利擁護業務

高齢者の虐待防止、成年後見制度活用支援などの権利擁護業務を行ったほか、関係機関の研修に参加し、職員の資質向上を図った。

開催日	内 容	場 所
3月5日	成年後見制度研修会	ひまわり館

③包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供されるよう地域のネットワークを構築し、社会資源を活用したケアマネジメントを行った。

・介護支援専門員定例ケア会議の開催

開催日	内 容	参加者数 (名)
9月17日	講話「高齢者の透析医療について ～予防から実際の治療について知識を深める～」 講師 ゆりなメディカルパーク 腎臓内科専門医 椎崎 和弘 氏	18
11月17日	講話「自立支援型地域ケア会議 自立支援とは？」 講師 医療法人大那 だいなリハビリクリニック リハビリ・看護課 課長 細井 直人 氏	29
2月18日	講話「認知症疾患医療センターのコロナ渦の現状と 今後の動向について」 講師 古河赤十字病院 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 岡野 嘉一 氏	18

④指定介護予防支援事業所の運営

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるように、介護予防サービス事業者等との連絡・調整を図りプランを作成した。

	H30 実績	R1 実績	R2 実績
作成件数 (件)	2,870	3,141	3,118

⑤認知症施策の推進支援

町で実施する地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム員会議に関係機関と連携しながら適切なサービス提供へ繋がるよう支援した。

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業

① 野木町介護予防・日常生活支援総合事業の実施

高齢者を中心とした地域の支え合い（互助）への取り組みに向け、町及び関係機関との連携のもと、町における介護予防・日常生活支援総合事業で要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援をした。

■ デマンド交通運営事業及び決算額

【17,378千円[15,666千円]】

1 事業の概要

公共施設、医療機関等への外出が容易にできない町民の交通手段を確保するため、利用者の要求に応じて運行する乗合タクシーの導入を図り、もって町民の交流促進、商業の活性化及び環境に配慮したまちづくりを推進した。

運行エリア（範囲）	野木町全域及び光南病院（小山市）、友愛記念病院（古河市） ※友愛記念病院へは、行きのみ
運行日	月曜日から金曜日 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は運休
運行便	午前8時～午後4時（30分おき運行）
運行台数	3台（セダン車2台、ワゴン車1台）
利用料金	1回（片道） 大人（中学生以上）300円、子供（小学生以下）200円 75歳以上 200円、3歳未満 無料
予約受付日・時間	月曜日から金曜日 午前8時から午後5時 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は除く

(1) デマンドタクシー利用者数等 別表による。（P24参照）

■ 日本赤十字社活動と共同募金活動

(1) 日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

- ① 日赤会員増強運動の実施（5月）
- ② 被災世帯への救援物資の援助（寝具・日用品等）
- ③ 災害等による被災地への義援金等の受付
- ④ 日赤県支部事業（救急法講習会等）の実施及び受付事務
- ⑤ 被災地救援活動の実施・援助

・日赤会員増強運動の実施（５月）

会員内訳	件数（件）			金額（円）		
	H30実績	R1実績	R2実績	H30実績	R1実績	R2実績
会 員	5	7	7	10,000	14,000	19,000
協力会員 （寄 付）	6,715	6,679	6,546	3,217,905	3,192,661	3,164,850
合 計	6,720	6,686	6,553	3,227,905	3,206,661	3,183,850

・災害等による被災地への義援金等の受付

	件数（件）	金額（円）
東日本大震災義援金	2	100,000
令和2年7月豪雨災害義援金	1	10,000

・赤十字活動資金の受付

	件数（件）	金額（円）
赤十字活動資金	1	5,933

(2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局

①赤い羽根共同募金運動の実施（10月）

②災害等による被災地への義援金等の受付

・赤い羽根共同募金運動実績（運動月間10月）

募金種別	協力数			金額（円）		
	H30実績	R1実績	R2実績	H30実績	R1実績	R2実績
世帯募金	6,655世帯	6,651世帯	6,551世帯	2,620,826	2,622,516	2,584,933
街頭募金	1ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	16,134	0	0
職域募金	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	7,083	6,407	7,723
法人募金	23社	23社	25社	116,000	108,153	125,000
設置募金箱	8ヶ所	10ヶ所	9ヶ所	3,914	6,164	12,255
個人募金	1件	0件	0件	5,000	0	0
自販機募金	2台	2台	3台	48,279	44,749	41,641
利 息				6	5	6
合 計				2,817,241	2,787,994	2,771,558

■その他の支援活動（リサイクル関連）

- ①不要入れ歯等貴金属リサイクルの国際協力支援
- ②ペットボトルキャップの国際協力支援（ワクチン還元）
- ③使用済み切手収集の国際協力支援

令和2年度 野木町老人福祉センター利用者数及び利用料収入状況報告書（令和2年4月～令和3年3月）

	開所日数 (日)	利用者総数 (人)	無料者数 (人)	有料者数 (人)	利用料金額 (円)	有料利用者の内訳(人)								1日平均 利用者数 (人)	利用団体数
						町内者				町外者					
						一般	小中学生	内減免者数	一般	小中学生	内減免者数				
R2.4月	10	168	166	2	200	2		1					17	27	
5月	0	2	2										2	1	
6月	30	773	772	1					1		1		26	119	
7月	29	863	863										30	133	
8月	28	625	625										22	109	
9月	28	926	921	5	400	2			3		3		33	136	
10月	31	1,172	1,162	10	400	2			8		8		38	164	
11月	26	1,033	1,029	4					4		4		40	149	
12月	28	927	921	6	400	2			4		4		33	137	
R3.1月	15	279	275	4	200	1			3		3		19	51	
2月	13	237	235	2	400	2							18	47	
3月	23	586	584	2	400	2							25	95	
合計	261	7,591	7,555	36	2,400	13	0	1	23	0	23		29	1,168	

* 上記有料利用者数の内訳には減免の為免除されている人数を含んでいます。

—野木町デマンド交通利用状況報告書—

1 登録者・利用者実人数(地区別・男女別)(平成21年度～令和2年度)

区分	友沼	松原	新橋	野木	野渡	南赤塚	中谷	丸林東	丸林西	潤島	若林	佐川野	川田	フレジーン	町外	合計
登録者数	59	121	191	72	49	78	13	147	125	71	26	45	25	6	13	1,041
	92	204	293	102	86	116	23	239	181	123	42	73	43	8	40	1,665
合計	151	325	484	174	135	194	36	386	306	194	68	118	68	14	53	2,706
利用者数	22	58	85	34	28	34	4	64	48	24	17	19	11	4	1	453
	56	118	198	67	65	69	13	161	119	88	35	52	28	7	14	1,090
合計	78	176	283	101	93	103	17	225	167	112	52	71	39	11	15	1,543
利用率	37.3	47.9	44.5	47.2	57.1	43.6	30.8	43.5	38.4	33.8	65.4	42.2	44.0	66.7		43.5
	60.9	57.8	67.6	65.7	75.6	59.5	56.5	67.4	65.7	71.5	83.3	71.2	65.1	87.5	35.0	65.5
合計	51.7	54.2	58.5	58.0	68.9	53.1	47.2	58.3	54.6	57.7	76.5	60.2	57.4	78.6	28.3	57.0

運行日数	2,730
利用者数	95,246
平均/1日	34.9
登録者数	2,706

更新日: R3.3.26	(デマンド)
更新日: H30.3.30	(町)
登録者: 死亡者数	383
登録者: 転出者数	149

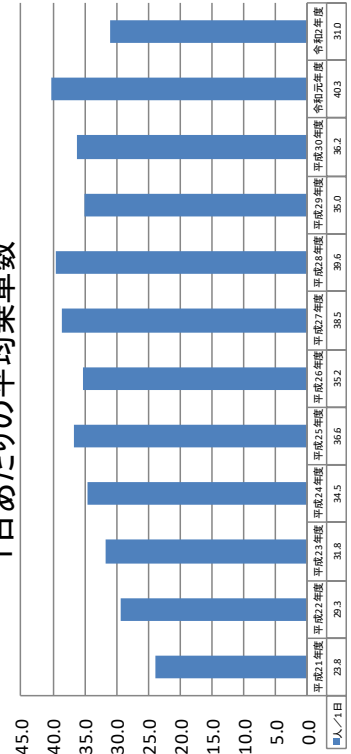
登録世帯数	1,847
-------	-------

2 月別利用者数・登録者数(令和2年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
運行日数	21	18	22	21	18	20	22	19	20	19	20	23	241
利用者数	541	494	631	723	577	658	737	607	621	622	568	681	7,460
平均/1日	25.8	27.4	28.7	34.4	32.1	32.9	33.5	31.9	31.1	32.7	31.6	29.6	31.0
登録者数	12	12	8	12	6	10	25	9	8	14	10	24	150
シルバークー排込者数	24	26	33	40	31	32	25	18	20	28	25	26	328
免許返納者数	7	3	5	4	7	1	12	2	6	2	11	6	66
無料券利用者数(200円)	14	21	12	23	23	15	22	17	7	18	19	16	207
無料券利用者数(300円)	2	12	5	4	17	7	14	8	4	5	9	8	95

利用世帯数	434
-------	-----

1日あたりの平均乗車数



年度別登録者・利用者

